

畜産試験場 養鶏研究所 概要

1 建物・施設・ほ場等

総面積	9,209.00m ²
建物敷地面積	2,202.48m ²
建物延面積	2,225.01m ²
本館延面積	399.12m ²
付属施設延面積(27棟)	
	1,825.89m ²
その他	5,100.00m ²

2 平成23年度予算

総予算額	14,934千円
内訳	
総務管理費	4,887千円
試験研究費	10,047千円
	(うち備品購入費 520千円)

3 平成23年度参観者数

1,305名

4 平成23年度試験研究(調査)結果の概要

1) エコフィードを利用した低コスト飼養技術の開発

養鶏用エコフィードの開発

(9,053千円 県単 H21~23年)

[内容]

飼料価格の高騰に対応するため、食品残渣及び県内未利用資源を活用した和歌山版エコフィードを開発し、採卵鶏およびブロイラーへのエコフィード給与試験を実施する。

[結果]

昨年度開発エコフィードの農家普及を開始した。また、既存エコフィードの持つ問題点(糞量増加等)を改善すべく、乾燥おからに変わる新素材を使った改良型エコフィードを開発。同様の10%利用で経済性・糞量減少等問題点の改善が認められた。

2) 有機性資源リサイクル技術開発事業

(1) じゃばら搾り粕を活用した地鶏飼養技術の開発

(794千円 県単 H22~23年)

[内容]

じゃばら搾り粕を養鶏用飼料素材として活用

するため、じゃばら絞り粕を養鶏用飼料に調整する技術開発及び鶏生体・生産物に与える影響を調査する。

[結果]

じゃばら搾り粕を10%添加することで、むね肉中のビタミンE含量が増加し食味性も向上することから差別化した商品販売が可能であることが判明した。また、燻製を試作し加工用途の可能性も提示した。

(2) ホロホロ鳥廃鶏等の効果的な加工技術の開発

(200千円 県単 H23年)

[内容]

ホロホロ鳥種鶏の廃鶏肉を有効活用するため基礎加工技術開発を主体として、ホロホロ鳥加工品の試作開発を行う。

[結果]

鶏肉小分け業者及び食肉加工業者と連携し、ホロホロ鳥廃鶏肉を利用した燻製の試作品2品を開発。町へのプレゼンテーションを行い、早期に産品販売所等での販売が行える体製造りに寄与した。

5 一般業務概要

1) 平成23年度主要行事及び特記事項

- (1) 平成23年9月8~30日、台風12号災害による災害派遣(主に日高川流域の牛の流出)に対応した。
- (2) 平成23年10月26日、高病原性鳥インフルエンザ対策防疫演習(有田管内)に参加した。
- (3) 平成23年12月7日、改良型エコフィード普及について、農水省消費安全局と法律上の協議を行った。

2) 平成23年度刊行物一覧

(1) 「紅冠だより」

3) 平成23年度主要な技術研修及び講演等実績

月	内 容	場 所	対 象
5	・紀州うめどりうめたまごブランド化推進協議会通常総会	湯浅町	会員、県関係者
6	・(社)畜産協会わかやま通常総会	和歌山市	会員、県関係者
7	・和歌山県養鶏協会通常総会 ・和歌山版エコフィードの普及について	和歌山市 有田川町	会員、県関係者 養鶏農家、県農業協同組合連合会
8	・和歌山版エコフィードの普及について ・和歌山版エコフィードの普及について	有田川町 白浜町	養鶏農家、畜産課 養鶏農家、県農業協同組合連合会
11	・和歌山版エコフィードの普及について	有田川町	養鶏農家、畜産課
12	・県家畜保健衛生・畜産技術検討会研究発表	和歌山市	家保、畜産課、畜産協会等
1	・和歌山版エコフィードの普及について	有田川町	養鶏農家、畜産課
2	・じゃばら地鶏開発に係る報告会	北山村	村長、村職員

4) 平成23年度研究成果の発表・公表

(1) 一般雑誌

なし

(2) 著書

なし

(3) 学会発表・学会誌等への投稿

題 名	発表者	発表誌
・エコフィード給与が採卵鶏の生産性に与える影響（第2報）	藤原美華	平成23年度獣医学術近畿地区学会（口頭発表）
・農家の収益性向上を目指して～エコフィードの改良と普及～	藤原美華	和歌山県家畜保健衛生・畜産技術検討会（口頭発表）
・紀州うめどり・うめたまご生産コスト低減に向けた代替脱塩濃縮梅酢（U55W）の性能調査	福島 学	和歌山県農林水産総合技術センター研究報告第13号

(4) 農林水産省研究会等資料

題名	発表者	発表誌
・和歌山版エコフイード開発について（第2報）	藤原美華	近畿中国四国養鶏担当者会議 (2011年11月) (口頭発表)

(5) 新聞掲載等

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載誌名
・廃棄食品を餌に利用	H23. 5. 28	紀伊民報
・ホロホロ鳥をふ化、ヒナ供給	H23. 6. 24	紀州新聞
・「じゃばら鶏」特産品に	H23. 6. 30	紀伊民報
・廃棄食材からエコ飼料	H23. 9. 27	読売新聞
・JAグループアワー 「和歌山版エコフイードの開発」について	H23. 11. 9	和歌山放送